

式第2号の1（第3条関係）

推薦書

叡啓大学収受	
第	号
8. 9. 24	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

2026年9月19日

叡啓大学学長選考会議議長 様

推薦代表者
学部等・職名 ソーシャルシステムデザイン学部 教授
氏 名 土本 康生

私は、本人の同意を得て、次の者を叡啓大学学長候補者の選考対象者として推薦します。

(ふりがな) 氏 名	(ありのぶ むつひろ) 有信 睦弘
現職名又は最終職名	広島県公立大学法人副理事長 叡啓大学学長

推薦理由

有信睦弘現学長は、研究および大学運営の両分野において卓越した識見と豊富な経験を有する優れた人物です。株式会社東芝において研究開発センター所長を務められ、また理化学研究所理事として研究部門全体を統括し、一般社団法人日本機械学会の会長も務められました。また、東京大学副学長、中央教育審議会大学院部会の部会長などの要職を歴任されるなど、我が国の学術研究と高等教育の発展に多大な貢献をされてきました。

叡啓大学の設立に際しては、広島県の有識者会議委員として構想段階から深く関わられ、本学の基本コンセプトの策定に中心的な役割を果たされました。本学の理念、使命及び特色を最も深く理解し、その実現に向けて尽力されてきた方の一人です。

また、開学後は初代学長として、教育基盤の整備をはじめ、志願者及び学生の確保、研究活動の推進、産学連携・国際交流の発展、健全な財務運営、学生支援体制の充実など、大学運営のあらゆる分野において強力なリーダーシップを発揮され、本学の確固たる基盤を築かれました。さらに現在は、自らの指導のもと策定された「中期ビジョン」の実現に向けて先頭に立ち、本学の更なる発展と進化を力強く牽引されています。

以上のことから、有信現学長は、卓越した研究実績、高い見識、そして大学及び法人運営に関する優れた経営能力を兼ね備えた稀有な人材と言えます。叡啓大学が今後もその理念を実現し、社会に新たな価値を創出する大学として更なる発展を遂げていくためには、その指導力と経験が不可欠であると確信し、有信現学長を引き続き叡啓大学学長として選任いただけるよう強く推薦いたします。